

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

も く じ

あたたかなまちづくりの基盤整備を・・・1P
日本地域福祉学会
地域福祉優秀実践賞受賞・・・1P

だいこんの里おかだ オープン・・・2P
民ボラ分科会でネットワーク評価・・・2P
7月1日りんりん茶屋オープン・・・2P
会員団体紹介NPO法人プレマクラブ・・・2P

=特集= 今、すすめよう
「地域の居場所づくり」・・・3P
サポートちたインフォメーション・・・4P
理念の共感 NPO担当職員リレー・・・4P

あたたかなまちづくりの基盤整備を

代表理事 岡本 一美

松下典子代表理事の後任として、不肖ながら代表理事就任にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

思い起こせば、平成13年、不遜ながら社会に貢献する仕事をしたいということで、この世界に足を踏み入れた私でした。

「ないものは創りだす」「あったらいいなをかたちにする」「ともに幸せになる幸せ」を実践する人々。次々目の前に顕れてくる「誰かの困った」を何とかしようと行動する人々にたくさん出会わせていただきました。NPO現場見学バスツアーがまだ始まっていないころ、前代表に連れて行っていただいた会員団体の現場で、こんな活動をする大人がいるんだ、「世の中捨てたもんじゃない」「こんな人たちに会えることができたら、子どもたちも社会に希望が持てるのでは？」と強く思いました。

これまで、NPOアドバイザーや地域ケア起業講座での福祉事業立ち上げ支援の事業を通じ、また知多地域成年後見センター設立など、1990年からの知多半島の福祉NPOのネットワークに連なる新しい取り組みが一つずつ生まれ、つながりあって、支えあう地域のあり方に関わることができたことはこのうえもない幸せなことでした。活動を継続される全ての人々に感謝し、尊敬申しあげます。

これからは、こうした市民互助の活動の継続発展につながる事業を行うとともに、商工観光や教育、環境、地縁など包括的なまちづくりにつながるこの地域の社会資源と連携し、知多半島のソーシャルキャピタル（安心・安全で人にやさしい、あたたかいまちの基盤）をはぐくんで行くことを一歩でも進めたいと思います。

地域福祉サポートちたは、できること、気づいたことから、人々の思いを形にしていくお手伝いが得意です。私たち一人ひとりが活動に参加し、新しい価値を生み出し、地域を変える力につなげていけるよう、微力ながらまい進してまいりますので、これま

で同様どうかご指導ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

日本地域福祉学会 地域福祉優秀実践賞 受賞

地域福祉サポートちたのこれまでの実績に対し、日本地域福祉学会から地域福祉優秀実践賞を受賞、松下理事はじめ3人の理事が6月12・13日に行われた同学会第24回新潟大会に出席した。基調講演には、前熊本県知事、長崎国際大学学長の潮谷義子さんが「これからの時代における地域主権のあり方」の演題で、「地域福祉はまちづくり、人の力起こし、結びづくり」と位置づけた、熊本発地域福祉モデルづくりの実践を語った。

また、同じく受賞者である宝塚市社会福祉協議会の報告でも、日常生活圏域での住民活動の推進と話し合い、地域ケアの場づくりへの実践が語られた。昨年度、ハート&ハンズの事業で会員団体が中心になって行った「足りないサービス創出会議」と同様のものが宝塚では「校区ネットワーク会議」として進められていた。また協働ロードマップ事業のテーマとなった「地域の交流の場」についても、公私協働のケアとして、民家型小規模デイサービスを普及させ、連絡会を組織化しており、知多の現状に近いものがあった。さらに個別支援を調整するワーカーの設置が今後の課題として挙げられていたが、知多地域では、すでに各NPOがその任を果たしていると取り組みの先駆性を改めて実感した。会場で宝塚市民が「社協は市民が使いこなすもの」と語っていたのが印象的であった。（岡本）



だいこんの里おかだ オープン

設立4年目を迎えたNPO法人だいこんの花では、ストレッチャー、胃ろう、ストマー、吸引、在宅酸素などを使用している人も利用できる施設として、知多市岡田の民



家活用型デイ「だいこんの里おかだ」を6月2日に開所した。開所式には、知多市長、福祉部長、市民活動推進課長のほか、在宅介護支援センター、地域包括支援センター職員等福祉関係者がたくさん訪れ、在宅生活困難者の支援に対する熱い期待が寄せられた。特徴は、広々とした6畳の浴室、身体障害の方にも個浴を提供できる。だいこんの花立ち上げ当初から代表荒木智子さんと苦労を分かち合った小松充也さんを中心に若手職員で運営されることになっており、「従来受け入れられなかった方々に、安心して過ごせる場所を提供し、喜んでいただきたい」とあたたかな気持ちで意気込んでいる。(岡本)

民ボラ分科会でネットワーク評価



6月5、6日に行われた第28回全国民間ボランティア市民活動推進者企画戦略会議が開催された。これは、民間中間支援組織

が意見交換する場で、静岡市で開催、テーマは「関わろうとする力」。初日は川勝平太知事が記念講演を行い、地域主権のあり方や県議会、市議会議員をボランティア化させる方向性を語った。

地域福祉サポートたちは、「近隣地域を巻き込む中間支援戦略」の分科会の助言者を担当、1990年以降のネットワーク形成とパスツアーやマネジメントセミナーの事業について説明した。北九州や栃木、東京などから参加した約20人は、団体間もたすけあうお互いさまの関係性を保っていること、パスツアーの取り組みなど「中間支援組織の理想形」で参考にしたいと知多半島のネットワークが大きく評価された。(岡本)

りんりん茶屋 オープン

半田市で活動しているNPO法人りんりにトレーラーハウス2号が完成。今年度の大きな事業計画・多世代交流スペース「りんりん茶屋」がいよいよ7月1日(木)にオープンする。

日中は食事をしたり、お茶を飲んだり、近所の人気が気楽に立ち寄るたまり場・多世代交流の場として活用する。また、学校帰りの子どもたちは、宿題や、お手伝いの場となる予定だ。

「夕方には夕焼けを見ながら食事が食べられる」、「秋には彼岸花を見ながらお茶が飲める」、「バーベキューやビアガーデンもできる」など、楽しむ構想を練りつつある。

しばらくは月・木曜日(12~13時)のみ、昼食を提供する予定ということなので、一度寄ってみてください。(竹内)



会員団体紹介

NPO法人 プレマクラブ

NPO法人プレマクラブは、半田市を中心に子育て支援中心に活動している。活動のきっかけは、子育て中にこそ自分の時間がほしい!という思いから託児付の教室を始めた。初めは大人を対象にした、エアロビクス・編み物・お花などの教室運営だけであったが、子どもを対象にした、リトミック・ピアノ・英語などの教室を開始。現在は、保育中の会話が全て英語という保育・教育施設

「Preschool」2ヶ所、通常の認可保育所2ヶ所と学童保育3ヶ所の複数を運営する法人になっている。

代表理事の石川さんは9人の母。プレマクラブの活動始め法人を運営する一方で、プライベートにおいても愛情あふれる子育てをしているパワーの持ち主。1人でも多くの人の声に応えたいという思いからどんどん活動が広がっている。これからの展開が楽しみな法人だ。



ち主。1人でも多くの人の声に応えたいという思いからどんどん活動が広がっている。これからの展開が楽しみな法人だ。

(竹内)

(新着情報)

4月にオープンした学童保育所「みんなのき」で児童デイが始まった。NPO法人プレマクラブとわたぼうしのコラボで実現

今、すすめよう「地域の居場所」づくり

5月30日、知多市市民活動センターで「新・大人の学校」開校式が行われた。参加者は約50人。昨年度の「大人の学校」では、ここからさまざまなグループが生まれ、地域活動に結びついた。その1つとして、地域サロンなどの「居場所」づくりがある。知多市寺本で活動している水嶋さんは、地域の仲間とともに昨年10月から月に1回地域サロンを始めた。一人身の寂しさなど自分の経験から、「将来、車が使えなくなり、足腰が弱った時、身近な地域にグチを言い合える仲間がいたらいいな」という思いを実践につなげた。

昨年度愛知県の委託事業で行った「要介護状態のない高齢者のための地域の交流の場づくり」をテーマとした【協働ロードマップ】（ある課題について関係者間の協議を経て、中長期的ビジョンを共有し、解決の方策を示す行程書）にまとめた、5年後のあるべき姿は、下記的那样であった。

○(多様なタイプが存在)

低料金で楽しめるいろいろなタイプの地域の交流の場が気軽に歩いて行けるところにあり、いつでも自分の好きなときに行き帰ってこられる。

○(男性が集まりやすい場が存在)

擬似会社のような小さな仕事がある交流の場に、リタイア後も趣味を持ちづらく、地域デビューが困難な男性も集まっている。

○(利用者の地域貢献)

利用者が主役となり、地域貢献を果たす事ができ、異世代交流の場となっている。

○(当事者による自立的運営)

高齢者が望む交流の場のあり方を、高齢者自身が実現し責任を持って運営している。

○(問題の受けとめ・解決機能)

交流の場に寄せられた個人の生活上の課題が、地域のたすけあい活動を生んでいる。

○(住民の育ちあいの場)

地域の交流の場の活動が、住民の地域力をアップし、地域自治がすすんでいる。

○(場同士のつながり・調整)

多様な交流の場がつながっており、運営者の情報交換が活発に行われている。



水嶋さんが知多市寺本台地区集会所で始めた、ほっとホットぬくもりサロン

平成21年度版高齢者社会白書によると、65歳以上の高齢者人口は平成27年(2015年)には3300万人を超え、37(2025)年には3600万人に達すると見込

まれている。高齢化率は、26.9%、30.5%とウナギ登りだ。

団塊の世代の女性は、比較的地域とのかかわりが深いため仲間づくりも得意でサロンなどに出かけやすい。しかし、これまで会社生活を生活の拠点としてきた多くの男性は退職を機に、会社から地域社会へと生活の重心を移すこととなる。その中で、新たな自分の居場所や地域社会とのつながりをどう作っていけるかが、高齢期の生活のあり方を大きく左右するだろう。

知多地域の福祉NPOの現場では、すでに囲碁や将棋、麻雀などを活動のメインに据えた男性向けサロンが開催されている。また、耕作者のいない農地を活用し畑仕事を楽しむ男性グループも見られるようになった。夜の居場所として、酒盛りもOKとした男性が集まりやすい取り組みも見られる。自分たちが楽しむばかりでなく、地域に役立つこともしたいと活動が変化してきている。

集まれば楽しいし、また集まってきたくなる。一人でもお休みがあれば、気になる。訪ねてみる。日常のつながりが深まれば、生活の困りごと口にしやすくなる。たすけあう姿が自然と生まれ、老々介護の苦勞や、独居のわびしさが気楽に相談でき、必要があれば専門家につないでいける場づくりを、福祉NPOの実績豊かなこの知多地域で、今後もさらに進めていきたい。(後藤 岡本)

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

あかり講演会

<日時>平成22年7月11日(日) 10:00～11:30
<場所>常滑市福祉会館
<テーマ>「誰のために、何のために福祉で働くのか」
<講師>赤星俊一
<対象>どなたでもOK <参加費>無料
<お問合せ> NPO 法人 あかり TEL: 0569-35-4185

感動のドキュメンタリー映画上映会 「107 + 1 ～天国はつくるもの～パート2」

<日時>平成22年8月1日(日) 13:30～15:30
<場所>半田市立さくら小学校体育館
<参加費>大人1,000円・小学生以下500円(前売り)
<お問合せ> NPO 法人 共育ネットはんだ 担当: 水野
TEL: 090-8079-8809
ご注意! 学校へのお問い合わせは おやめください

楽笑～新会員 蒲郡市三谷町発信～ 大募集!

■ヘルパー募集: 知的・身体に障がいのある方が楽しく笑って地域で暮らし続けるためのお手伝いしてくれる方

■「ギョギョウランド in サマー」開催ボラ募集
地域の主婦が中心となり、三谷漁港の魅力を伝えるまちおこし企画。様々な年代の人と関わりながら、ボランティアに参加して、一緒にイベントを盛り上げませんか?
<日時>8月28日(土) 16:00～<場所>三谷漁港

■子どもが作るまち キッズみや学生ボラ募集
子どもが自分たちの住みやすい街を考え、手作りの街の中で店員やお客さんになりきって働きます。子どもたちの積極性を引き出し協同の大切さを伝えます。
学生の皆さん!一緒に企画・運営をしてみませんか?
<日時>11月頃
<お問合せ> NPO 法人楽笑 TEL: 0533-69-1169
rakusho@sk2.ai tai . ne . jp

NPO担当職員リレー

地域の中に、話し合う「場づくり」を

東浦町総務部コミュニティ課主任 鈴木貴雄氏



今や、猫も杓子も「協働」と叫ばれるご時世だが、実は「カタチ化」に困っているのは行政だったりする。

だからこそ、「地域の中で話し合う場と、そのコーディネートを徹するのが役割」と語る。

税務課、企画課、福祉課、社協そしてコミュニティ課に就任して三年目。役場の約1%に当たる、町づくり精鋭部隊(コミュニティ課)3人の中の1人。

地域と行政が両輪となり、地域課題の解決方法を考え、中長期ビジョンの行動計画を立てるため、「がんばる地域支援事業」を今年度から2年間実施する。コミュニティ会長に補助金を出す形だが、提案してくれる一般の市民の方たちも加わってほしいと考える。そのためには、話し合う場が地域の中に必要と力説する。色んな形で住民協働を推進するが、強固な地縁神話や、過去の依存体質が住民自治意識を削いでいると憂う。

現在、サポートちたのバスツアーを行政職員研修として計画。中間支援の役割について、また親の介護や、NPO法人絆がなかったらという疑似体験を含めた研修も視野に入れ人材育成に力を注ぐ姿は中間支援職員だ。(市野)

☆耳より情報☆

サポートちたでは、マイクセット・プロジェクター・ビデオの貸し出しができます!!各1日1,000円で貸し出していますので、お気軽にお尋ねください!!

第9期マネジメントセミナー

「地域の連携からはじまる新しい公共づくり」

7月16日(金) 13:30～15:30



NPO現場見学バスツアー

7月20日(火) 9:30～16:30 定員8人
参加費 5,000円(昼食代別途)



特定非営利活動法人

地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1

知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631

Fax 0562 (33) 1743

Email spchita@ams.odn.ne.jp

URL <http://www.cfsc.npo-jp.net>

